

# イカナゴ情報(H29-2号)

平成29年 2月 9日発行  
三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

2月2-3日に伊勢湾全域において、ボンゴネットによるイカナゴ仔魚の分布調査を実施しましたが、採集されませんでした。(図1)

過去の仔魚採集量の結果(表1)からも、現時点の仔魚の加入は昨年同様、極めて悪い状況です。

また、2月5日に漁業者が伊勢湾口付近で行った産卵親魚調査において、親魚がほとんど採集されなかったこと、及び今回の分布調査において、例年ふ化仔魚が初めに採集される湾口部付近で仔魚が採集されなかったことなどを考えると、今後の加入はほぼ期待できないものと思われます。

このため、今漁期の資源量については、昨漁期同様、非常に低調となることが予想されます。

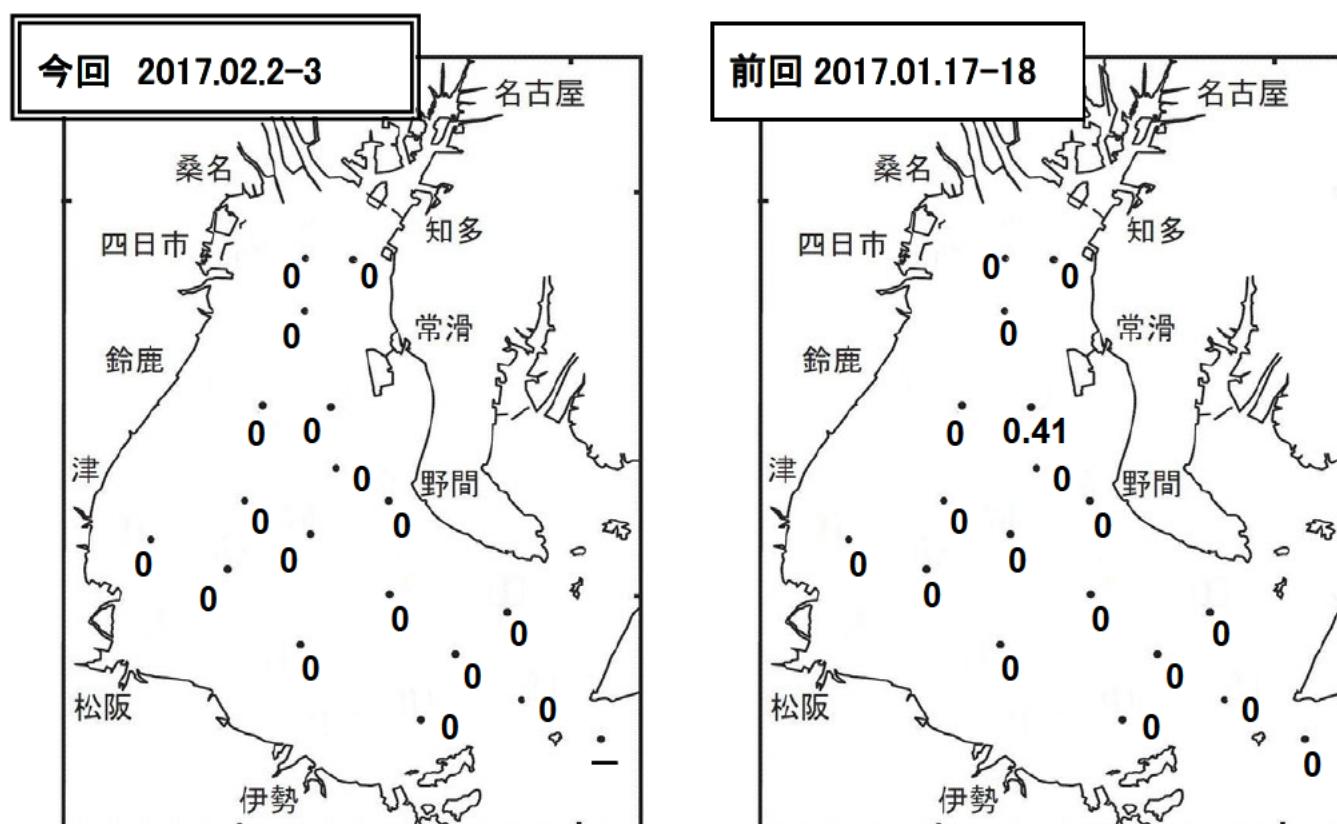


図1 イカナゴ仔魚採集量(図中の単位は尾/m<sup>2</sup>)

表 1 ボンゴネットによるイカナゴ仔魚採集量(過去 10 年間)

単位: 尾/m<sup>2</sup> ※愛知水試のデータを含む

		1月上旬	1月中旬	1月下旬	2月上旬	2月中旬	解禁日	加入量 (億尾)
		伊良湖前	伊勢湾平均	全湾平均	伊勢湾平均	伊勢湾平均		
2007	H19	873	228	98	32		2月27日	182
2008	H20	145	55	18	13		3月2日	180
2009	H21	0	8	3	1		3月8日	44
2010	H22	643	236	216	310		3月3日	504
2011	H23	78	195	62	30		3月11日	283
2012	H24	141	118	60		25	3月8日	321
2013	H25	233	71	21	27		2月28日	302
2014	H26	815	26	70	29		3月2日	292
2015	H27	57	40	1	3		3月6日	89
2016	H28	0	0	0.07	0.04	0.05	禁漁	-
2017	H29	0	0.02	0				

※2017年1月下旬の全湾平均は、1月31日に愛知県が調査した三河湾と  
2月2-3日に三重県が調査した伊勢湾の結果を併せ1月下旬の値としています。